



施策 道路・交通

目指す
状態

公共交通の利便性向上や効率的・効果的な道路整備の推進等を通じて、
多くの人が行き交う安全で快適な都市を形成します。

1 施策の現状と課題

- 本市は鉄道交通の利便性が高く、JR常磐線・つくばエクスプレス・東武アーバンパークラインの11駅を有しています。また、民間バスの路線が市内に広く展開されているほか、コミュニティバス「ワニバス」や予約型相乗りタクシー「カシワニクル」を運行しています。今後、高齢化が進行する中で公共交通の重要性はさらに高まると想定されることから、利便性の向上や公共交通空白不便地域への対応を図り、かつ、持続可能で誰にでも快適な公共交通ネットワークを構築する必要があります。
- これらの解決には、地域状況に応じたバス路線への再構築に加え、全国的な問題となっている公共交通の運転士不足解消への対応も必要です。

2 施策の現状と課題

- 本市は広域的な道路交通の利便性も高く、常磐自動車道の柏インターチェンジが設置されているほか、国道6号・国道16号等が基幹的な道路骨格を形成しています。
- 他方、主要道路では国道への接続や交差点形状に起因する渋滞が生じやすいことが課題となっています。
- 渋滞対策や安全対策のため、道路の機能強化のほか、自転車・歩行者の安全対策が求められていることから、地域の実情等を踏まえて、効率的・効果的な道路整備の推進を図っていく必要があります。

●主な関連部門計画

● 柏市バリアフリー基本構想

● 柏市バリアフリー道路特定事業計画

● 柏市地域公共交通計画

● 第二次柏市総合交通計画



施策の方向性 公共交通の利便性向上を図る

鉄道・バスについては、事業者との連携のもと、利便性のさらなる向上を図ります。また、鉄道駅周辺については、駅前広場の整備に合わせ、待合環境の向上や情報提供の充実を図り、誰でも快適に利用できるユニバーサルなデザインとするなど、交通結節点としての利便性向上を図ります。既存の路線バスなどがいない地域への対応は、地域の実情を踏まえ、多様な主体と連携し、持続可能な公共交通のあり方を検討していきます。また、利便性の高い公共交通ネットワークを形成するために、既存の路線バスの維持に向け、バス路線の再編による運行効率化や運転士不足解消につながる自動運転バスの運行について、事業者と連携して取り組みます。

施策の方向性 効率的・効果的な道路整備を推進する

国・県との連携のもと、主要な道路骨格を形成する道路の整備を促進するとともに、重要性が高いと判断される市道の整備を計画的に推進します。また、歩行者空間のバリアフリー化などを進めるとともに、安全で快適な自転車通行空間づくりに取り組みます。広域的な交通網の形成に向け、国や県へ働きかけを行うなど、早期実現に向けた取組を推進します。

● 柏市バリアフリー道路特定事業実施計画

● 第3次柏市都市計画道路等整備プログラム

● 柏市自転車活用推進計画